（別添資料１）

事業所名　あごら

支援プログラム

作成日　2025 年　2 月　1 日

法人（事業所）理念	・障害のある人たちが、地域で普通の市民としての暮らしが出来るよう活動します ・かけがえのない存在としての利用者の尊厳を大切にし、そのねがいに寄り添い、事業を運営します ・地域の人たちとの交流・共同を大切にし、地域に役立つ活動を展開します。またそれらの活動を通して「共に生きる」理念・方法の創造、発信を行います									
支援方針	①人格・人権の尊重をすべての支援活動の基本とする ②利用者が自らの生活を自らの意思で選択・決定できるよう、可能な限り本人の意思を尊重し自己決定ができるよう支援する ③生活が施設の中だけに完結することなく、地域に開かれた施設、地域に必要な施設となることを目指す									
営業時間	授業終了後 学校休業日	13 9	時	00 00	分から	17 16	時	00 00	分まで	送迎実施の有無　（あり）　なし
	支　援　内　容									
本人支援	健康・生活	主に健康的な生活が送れることを目的とし、それらのために種々の支援を組み合わせて支援を行う。具体的な支援をして、特定の時間を療育活動と設定し、スケジュール通り行動することを学び、安全に配慮しなら安定した生活が送れるよう支援を行います。また、調理などの活動から、より多くの食品に触れ、好き嫌いを低減しつつ生活が豊かにすることを図る。身の回りの整容を学べるように、片づけや手洗いなどの習慣づけられるよう支援を行います。 バギー車が必要な児に対して、乗車時の良肢位の保持を行うと共に、転倒、転落を予防していきます。また、長時間同じ姿勢をとることでの弊害を防止するため、バギー車から降りて過ごす時間も確保します。									
	運動・感覚	身体の運動機能を強化することによって、日常生活を拡充することを目的として支援を行う。具体的な支援としてトランポリンや鉄棒等の教具などを用いて身体を大きく動かす粗大運動を向上させつつ、工作や調理から微細運動への支援を行います。また、散策を通じて体力維持を目指します。自然の中を歩くことで環境への興味や自然の音や匂い、触感に注目し、五感を通じて感覚統合を促します。いずれの活動においても、楽しみながら運動能力や感覚の発達を段階に応じて、個々に適したプログラムを策定し支援を行います。									
	認知・行動	対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得を目指します。具体的な支援として集団で外出や活動を行い、外出や集団でのルールや行動を学び、その中から集団で過ごすための情緒の安定を学べるよう、支援者からの声掛けなどの支援を行います。また、感覚遊びや創作活動などの情操教育を通して、自身の考えや思いを伝えられるように支援を行います。									
	言語 コミュニケーション	コミュニケーションの基礎的能力の向上を行い、結果として様々な状況に対応できるようコミュニケーション力を身につけられるよう支援を行う。具体的な支援として他の児童と関わりを持てるように活動は集団で行い、適切な言葉遣いやコミュニケーションを学べるよう、適宜支援者の言葉かけを行います。また、家庭や学校との連携を図り、個々に合った言葉、もしくは絵カード、ジェスチャー等の非言語的コミュニケーションを用いて総合理解を図っていきます。場面に応じた表情や発語から、児の気持ちをくみ取り、共有・共感することで共同注意などのコミュニケーション能力の向上に繋げていきます。									
	人間関係 社会性	遊びを通じて社会性の発達を促し、仲間づくりと集団への参加を目指し支援を行う。具体的な支援として、最初は支援者との関係性を構築し、少人数のグループの中から徐々に人間関係を広げることや感情のコントロールする事を学び、人と関わること心地よさを味わえるよう支援を行います。また、地域や社会の活動に参加できるように支援します。									
家族支援	保護者様の子育てに関する悩みなどに関して、事業所での様子などの情報交換と、それらを踏まえたうえでの助言・相談を行います。									
移行支援	ライフステージの切り替えを見据えた将来的な移行に向けた準備としての支援を行います。主にビータスとの連携を図り、個別支援計画の共有、引継ぎ資料の策定を行い、変化に合わせた支援を行います。									
地域支援・地域連携	将来的に子供たちが地域で生活する上で、より生きやすい社会を作ることを目標とした包括的な支援を行います。そのために学校、保健所、児童相談等の専門機関との連携、個別のケース検討のための会議への出席等を適宜行います。									
職員の質の向上	必要に応じて公的な外部研修に参加し、それらの内容を社内のスタッフに伝達する社内研修を併用しながら、スタッフの知識と技術向上を図ります。 合同研修（月１回程度）、外部研修、勉強会、階層別研修									
主な行事等	季節の移り変わりを感じられるように、各季節に沿ったイベントを開催する。例として、お花見、いちご狩り、夏祭り、プール、芋ほり、ハロウィン、クリスマス会、初詣など。 また、地域の祭りや同法人のイベントへの参加を積極的に行っていきます。									